

## 「遠隔授業の有効性と課題」に関する調査アンケート：学生向け 集計結果（学外公開用）

神奈川大学 教育支援センター

### 【調査の概要】

#### 調査の趣旨：

新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施している2020年度前学期の遠隔授業について、その有効性と課題を探るため、学生の授業受講の状況に関するアンケート調査を実施した。本アンケート調査は、2020年度後学期授業の実施方法の検討、また遠隔授業の在り方の検討にも活用する。

#### 調査対象：

【学生】学部生、学部科目等履修生、学部留学生  
大学院生、大学院科目等履修生、大学院留学生

#### 調査方法：

- ・ WeBSt@tionのアンケート機能(回答・集計含む)による調査
- ・ 無記名での回答とする(ただし所属学部・学科、職位、学年のみ回答必須とする)
- ・ 1人1回のみ回答可、ただし期間中の再回答(修正)を可とする

#### 調査期間：

- ・ 2020年6月25日(木)～7月6日(月)

### 【集計の概要】

- ・ 学生回答数:3,900名（対象者17,452名: 22.35%）
- ・ 自由記述については、7つのカテゴリーに分類し、個々の回答について非公開とした

### 【主な傾向】

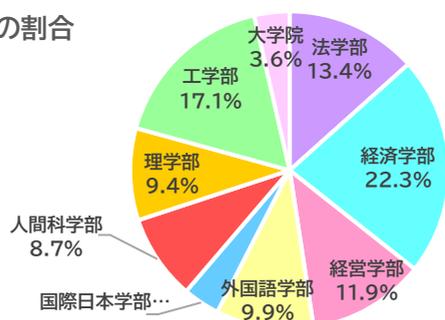
- ・ 問2:回答者のうち1年生の割合が44%を超えている。
- ・ 問3:20%が帰省先の実家で受講している。
- ・ 問7:インターネットの通信状況は、約90%が「ほとんど途切れない」「おおむね問題ない」と、回答。
- ・ 問8:授業時間外での学習時間は、「週30分未満」「取り組んでいない」が約10%にとどまる。
- ・ 問9:対面授業と比べて、学習時間が「かなり増えた」「増えた」が約55%。
- ・ 問10:対面と比べて実感していることは、「教員とのコミュニケーションがスムーズ」「学生同士のGW・議論がスムーズ」の評価が低く、「資料の受け取りやすさ」「課題の提出」「授業内容の理解」「問題なく受講できている」の評価が高い傾向にある。
- ・ 問11:対面授業と比べた教育内容や学習効果は、授業形態を問わず「変わらない」が多い。
- ・ 問12:満足度は、授業形態を問わず「どちらでもない」が多い。
- ・ 問13:平常時に遠隔授業を受講したいかについては、「講義」が約56%が受講したいと回答。一方で、「語学」「演習」「実験・実習」は「対面で受講したい」が多い。
- ・ 自由記述には、「通学時間が減った」「オンデマンド・ZOOMの録画が役に立った」「課題が多い」「教員への苦情」「1年生からの不安(友達ができない)」という回答が目立った(個々の回答は非公開)。

問.1 所属の学部・学科を教えてください。

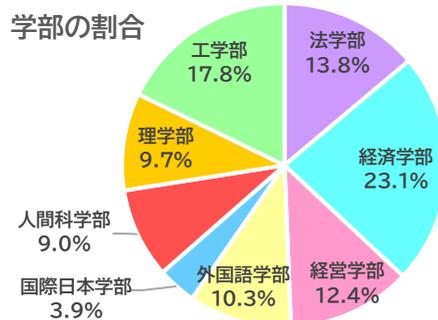
(単一回答)

	回答数 (A)	% (A/3900)	在籍者数 (B)	回答割合 (A/B)
<b>全体</b>	<b>3,900</b>	<b>100%</b>	<b>17,885</b>	<b>21.8%</b>
<b>法学部</b>	<b>526</b>	<b>13.5%</b>	<b>2,512</b>	<b>20.9%</b>
法律学科	346	8.9%	1,687	20.5%
自治行政学科	180	4.6%	825	21.8%
<b>経済学部</b>	<b>879</b>	<b>22.5%</b>	<b>4,483</b>	<b>19.6%</b>
経済学科	600	15.4%	3,049	19.7%
現代ビジネス学科	279	7.2%	1,434	19.5%
<b>経営学部 国際経営学科</b>	<b>470</b>	<b>12.1%</b>	<b>2,176</b>	<b>21.6%</b>
<b>外国語学部</b>	<b>390</b>	<b>10.0%</b>	<b>1,793</b>	<b>21.8%</b>
英語英文学科	185	4.7%	820	22.6%
スペイン語学科	92	2.4%	380	24.2%
中国語学科	62	1.6%	253	24.5%
国際文化交流学科	51	1.3%	340	15.0%
<b>国際日本学部</b>	<b>147</b>	<b>3.8%</b>	<b>307</b>	<b>47.9%</b>
国際文化交流学科	73	1.9%	177	41.2%
日本文化学科	36	0.9%	60	60.0%
歴史民俗学科	38	1.0%	70	54.3%
<b>人間科学部 人間科学科</b>	<b>342</b>	<b>8.8%</b>	<b>1,221</b>	<b>28.0%</b>
<b>理学部</b>	<b>369</b>	<b>9.5%</b>	<b>1,553</b>	<b>23.8%</b>
総合理学プログラム	40	1.0%	95	42.1%
数理・物理学科	74	1.9%	255	29.0%
情報科学科	91	2.3%	396	23.0%
化学科	84	2.2%	399	21.1%
生物科学科	80	2.1%	408	19.6%
<b>工学部</b>	<b>675</b>	<b>17.3%</b>	<b>3,398</b>	<b>19.9%</b>
総合工学プログラム	50	1.3%	179	27.9%
機械工学科	148	3.8%	695	21.3%
電気電子情報工学科	114	2.9%	631	18.1%
物質生命化学科	100	2.6%	544	18.4%
情報システム創成学科	84	2.2%	422	19.9%
経営工学科	77	2.0%	358	21.5%
建築学科	102	2.6%	569	17.9%
<b>法学研究科 法律学専攻</b>	<b>2</b>	<b>0.6%</b>	<b>11</b>	<b>18.2%</b>
<b>経済学研究科 経済学専攻</b>	<b>1</b>	<b>0.3%</b>	<b>10</b>	<b>10.0%</b>
<b>経営学研究科 国際経営専攻</b>	<b>30</b>	<b>8.7%</b>	<b>12</b>	<b>250.0%</b>
<b>外国語学研究科</b>	<b>5</b>	<b>1.4%</b>	<b>33</b>	<b>15.2%</b>
欧米言語文化専攻	2	0.6%	12	16.7%
中国言語文化専攻	3	0.9%	21	14.3%
<b>人間科学研究科 人間科学専攻</b>	<b>16</b>	<b>4.6%</b>	<b>22</b>	<b>72.7%</b>
<b>理学研究科 理学専攻</b>	<b>5</b>	<b>1.4%</b>	<b>53</b>	<b>9.4%</b>
<b>工学研究科</b>	<b>34</b>	<b>9.8%</b>	<b>218</b>	<b>15.6%</b>
工学専攻	24	6.9%	158	15.2%
建築学専攻	10	2.9%	60	16.7%
<b>歴史民俗資料学研究科 歴史民俗資料学専攻</b>	<b>9</b>	<b>2.6%</b>	<b>83</b>	<b>10.8%</b>

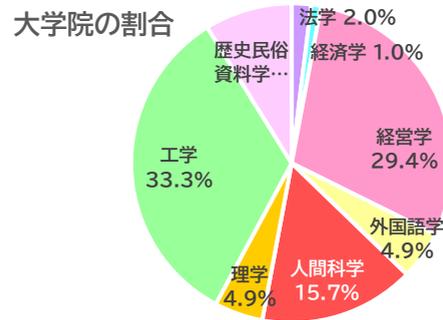
全体の割合



学部の割合



大学院の割合

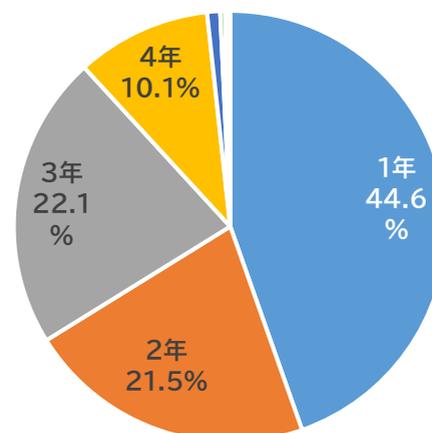


## 問.2 学年を教えてください。

回答者のうち1年生の割合が44.6%を占めた。4年生の回答が少なかったことは、履修科目の少なさが影響していると考えられる。

(単一回答)		
	回答数	%
<b>全体</b>	<b>3,900</b>	<b>100%</b>
1年	1,740	44.6%
2年	840	21.5%
3年	860	22.1%
4年	393	10.1%
博士前期課程1年	38	1.0%
博士前期課程2年	14	0.4%
博士後期課程1年	6	0.2%
博士後期課程2年	3	0.1%
博士後期課程3年	2	0.1%
科目等履修生	4	0.1%
交換留学生	0	0.0%

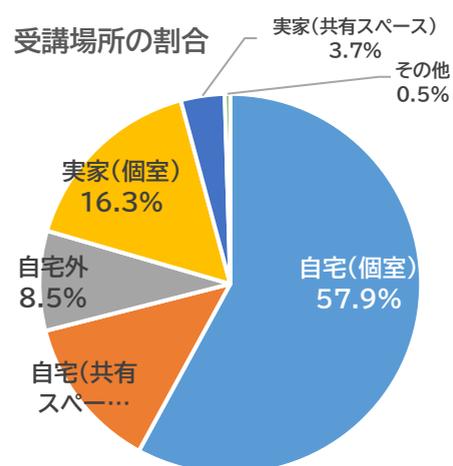
学年の割合



## 問.3 前学期の授業(遠隔授業)をどこで受講していますか。

過半数を超える学生が「自宅(大学への通勤圏内)の個室」で受講している。  
また、「帰省先の実家(大学への通勤圏外)」での受講については、個室16.3%、家族共有スペース3.7%で合計20%となり、5人に1人の学生が地方の実家に帰省していることが分かった。

(単一回答)		
	回答数	%
<b>全体</b>	<b>3,900</b>	<b>100%</b>
自宅(大学への通勤圏内)の個室	2,260	57.9%
自宅(大学への通勤圏内)の家族共有スペース(リビング等)	510	13.1%
自宅外のマンション・アパート・寮など	331	8.5%
帰省先の実家(大学への通勤圏外)の個室	636	16.3%
帰省先の実家(大学への通勤圏外)の家族共有スペース(リビング等)	145	3.7%
その他(自由回答)	18	0.5%
・複数組み合わせ	3	
・兄弟と共有部屋	3	
・祖母の家	1	
・寮	1	
・仕事先の寮	1	
・自国の自宅(留学生)	1	
・カフェ	1	

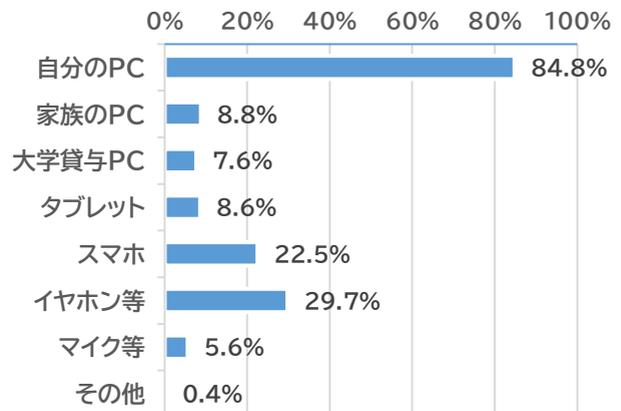


問.4 どのような機器を使用して遠隔授業を受講していますか。

ほとんどの学生が「自分のPC」を使用して受講している。  
5月より学生へ貸与しているノートPCについても、一定の使用者数があることが分かった。

	(複数回答)	
	回答数	%
<b>全体</b>	<b>6,549</b>	
自分のPC	3,306	84.8%
家族のPC	342	8.8%
大学から貸与されたPC	298	7.6%
iPadなどタブレット端末	335	8.6%
iPhoneなどスマートフォン	877	22.5%
イヤホン・ヘッドホン	1,160	29.7%
マイク・ヘッドセット	217	5.6%
その他(自由回答)	14	0.4%

受講機器の割合



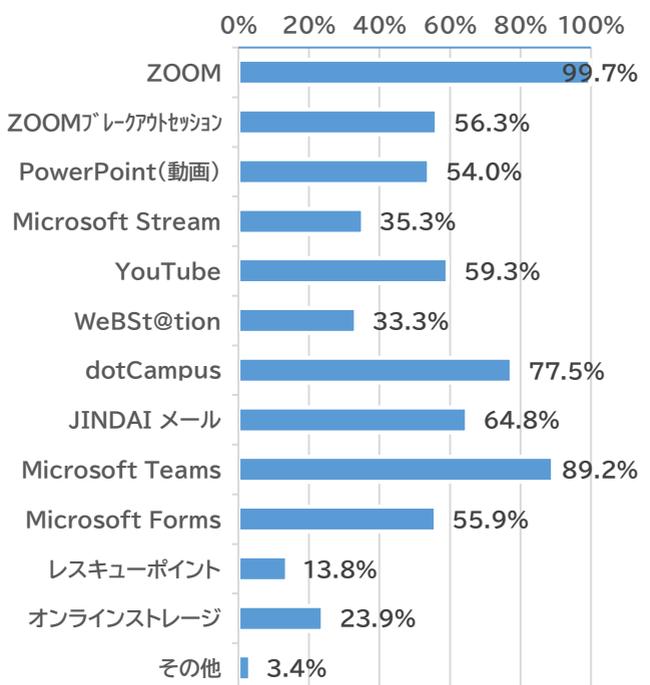
- |            |   |                   |   |
|------------|---|-------------------|---|
| ・ マイク、イヤホン | 5 | ・ ノートPC(知り合いから貸与) | 2 |
| ・ スピーカー    | 3 | ・ モニター            | 1 |
| ・ Webカメラ   | 2 | ・ カメラ             | 1 |
- ほか

問.5 受講している授業ではどのようなツールが使用されていますか。

ほとんどの学生がいずれかの授業でZOOMを使用して受講している。  
アクセスの不具合により使用を制限していた「dotCampus」についても、一定数の使用があったことが認められた。  
「dotCampus」にかわって急遽導入した「Microsoft Teams」については、それを上回る使用があった。  
回答数については、学生1人あたり6.7個の選択肢を選んでおり、多くのツールを使用して授業を受けていることが分かった。  
自由記述でも「授業で使うツールが多い」という意見が寄せられていることが、ここからも読み取ることができる。

	(複数回答)	
	回答数	%
<b>全体</b>	<b>25,986</b>	
ZOOM	3,890	99.7%
ZOOMブレイクアウトセッション	2,195	56.3%
Power Point(動画配信)	2,107	54.0%
Microsoft Stream	1,376	35.3%
YouTube	2,311	59.3%
WeBSt@tion	1,300	33.3%
dotCampus	3,023	77.5%
JINDAI メール	2,526	64.8%
Microsoft Teams	3,477	89.2%
Microsoft Forms	2,180	55.9%
レスキューポイント(Google Sites)	537	13.8%
OneDrive, Google Drive等のオンラインストレージ	933	23.9%
その他(自由回答)	131	3.4%

授業で使用されるツールの割合



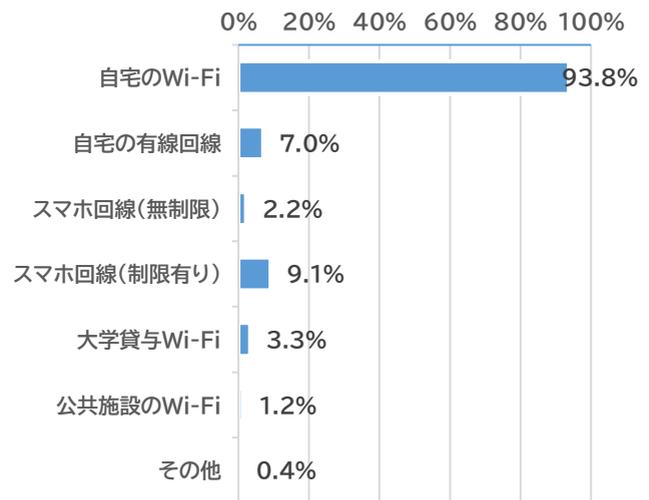
- |                    |    |                      |   |
|--------------------|----|----------------------|---|
| ・ Google Classroom | 26 | ・ LINE(オープンチャット、ビデオ) | 4 |
| ・ Edmode           | 17 | ・ Vimeo              | 3 |
| ・ Google Forms     | 13 | ・ 授業の担当教員が作成したHP     | 3 |
| ・ Skype            | 13 | ・ Microsoft OneNote  | 2 |
| ・ WebClass         | 13 | ・ Outlook, Gmail     | 3 |
| ・ Dropbox          | 11 | ・ Word, Googleドキュメント | 2 |
| ・ Slack            | 6  |                      |   |
- ほか

問.6 授業の受講に使用しているインターネット環境について教えてください。

ほとんどの学生が「自宅のWi-Fi」を使用している。4月初旬から携帯電話通信各社による通信量の無償化に伴い、「スマートフォンなどのデータ回線」の使用が一定数あると予想されたが、これは約10%程度であった。  
大学からポケットWi-Fiの貸与(数量限定)を行っている一方で、一部の学生においては、自宅外の公共施設等の不特定多数の人が集まる環境で受講していることも分かった。長時間の履修による感染リスクも懸念されるため、要因の調査と対応策の検討が必要である。

	(複数回答)	
	回答数	%
<b>全体</b>	<b>4,561</b>	
自宅のWi-Fi	3,657	93.8%
自宅の有線回線	272	7.0%
スマートフォンなどのデータ回線(容量無制限)	85	2.2%
スマートフォンなどのデータ回線(容量制限有り)	354	9.1%
大学から貸与されたポケットWi-Fi	129	3.3%
カフェや公共施設のWi-Fi	47	1.2%
その他(自由回答)	17	0.4%

インターネット環境の割合



- |             |    |                |      |
|-------------|----|----------------|------|
| ・ポケットWi-Fi  | 10 | ・アルバイト先のWi-Fi  | 1    |
| ・アパートのWi-Fi | 1  | ・自宅のケーブルテレビの回線 | 1    |
| ・寮のWi-Fi    | 1  | ・施設のフリーWi-Fi   | 1 ほか |

問.7 授業時のインターネットの通信状況について教えてください。

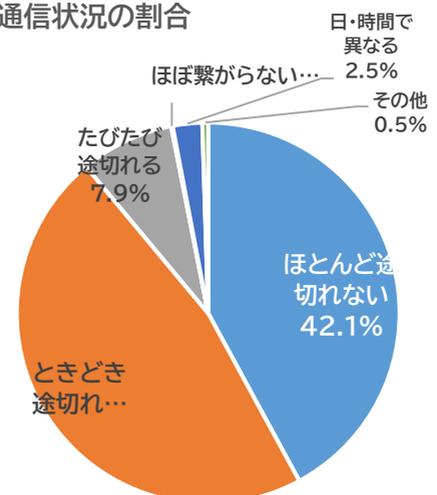
「ほとんど途切れることなく受講できている」と「ときどき途切れるが、おおむね問題なく受講できている」が合わせて89%と、ほとんどの学生がインターネット環境による受講の不具合がないことが分かったが、一方で1割の学生は受講しにくい状況に置かれていたことも分かった。

この通信状況の悪さについては、教員側の不具合をはじめ、集合住宅のWi-Fiのトラブル、周囲の電子レンジの使用による干渉など、さまざまな要因があることが分かった。

特にオンタイム型の授業では、通信状況の悪さにより受講ができなくなることから、収録動画や資料の公開によるフォローなど、学生の不利益にならないような配慮が求められる。

	(単一回答)	
	回答数	%
<b>全体</b>	<b>3,900</b>	<b>100%</b>
ほとんど途切れることなく受講できている	1,642	42.1%
ときどき途切れるが、おおむね問題なく受講できている	1,828	46.9%
たびたび途切れ、受講しにくい	309	7.9%
ほぼ繋がらず、受講できない	5	0.1%
日または時間帯によって異なる	97	2.5%
その他(自由回答)	19	0.5%

通信状況の割合



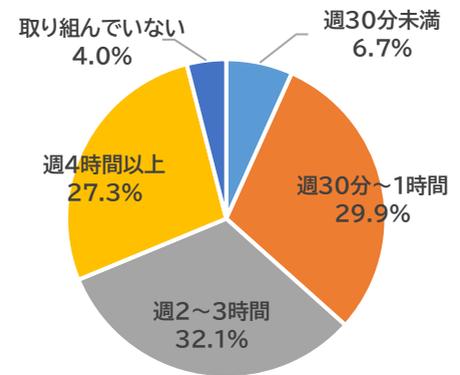
- ・教員側のインターネット環境により途切れることがある。(計10件)
- ・アパートのWi-Fiでは通信環境が悪いため、iPhoneの4Gで繋いでいる。
- ・ごくたまにWi-Fiが切れる。その場合は有線に切り替える。有線で切れたことはない。
- ・テストのときWi-Fiが途切れ不合格になった。
- ・ほとんど途切れないが、ときどき途切れ聞き逃すこともある。(ポケットWi-Fiを使用)
- ・英語speakingの授業など大人数でビデオ、マイクともに使用する授業では、途切れることが多い。
- ・家族の昼ご飯直前の時間(12時前後)にレンジが使用されるとその間の通信状況が悪くなる。
- ・特定の授業がブラックアウトし授業がままならない。特に必修は困る。
- ・平日は問題ないが、土日は帰省先に帰っていて全くネット環境が使えないため、平日のみ良好。

問.8 授業時間外で各科目ごとにどの程度学習(予習・復習)に取り組んでいますか。

「週30分～1時間」「週2～3時間」「週4時間以上」がそれぞれ30%前後であった。  
自由記述にて「課題が多い」という意見が多く寄せられているが、ここでの回答が課題にかかる時間か、もしくは通常の予習・復習の時間かどうかは定かではない。

(単一回答)		
	回答数	%
<b>全体</b>	<b>3,900</b>	<b>100%</b>
週30分未満	262	6.7%
週30分～1時間	1,167	29.9%
週2～3時間	1,252	32.1%
週4時間以上	1,064	27.3%
取り組んでいない	155	4.0%

授業外学習の割合

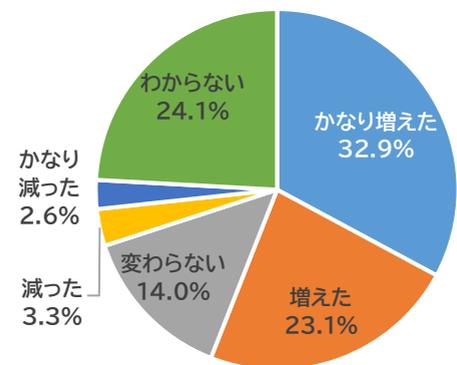


問.9 通常の対面授業と比べ、授業時間外での学習は増えましたか。

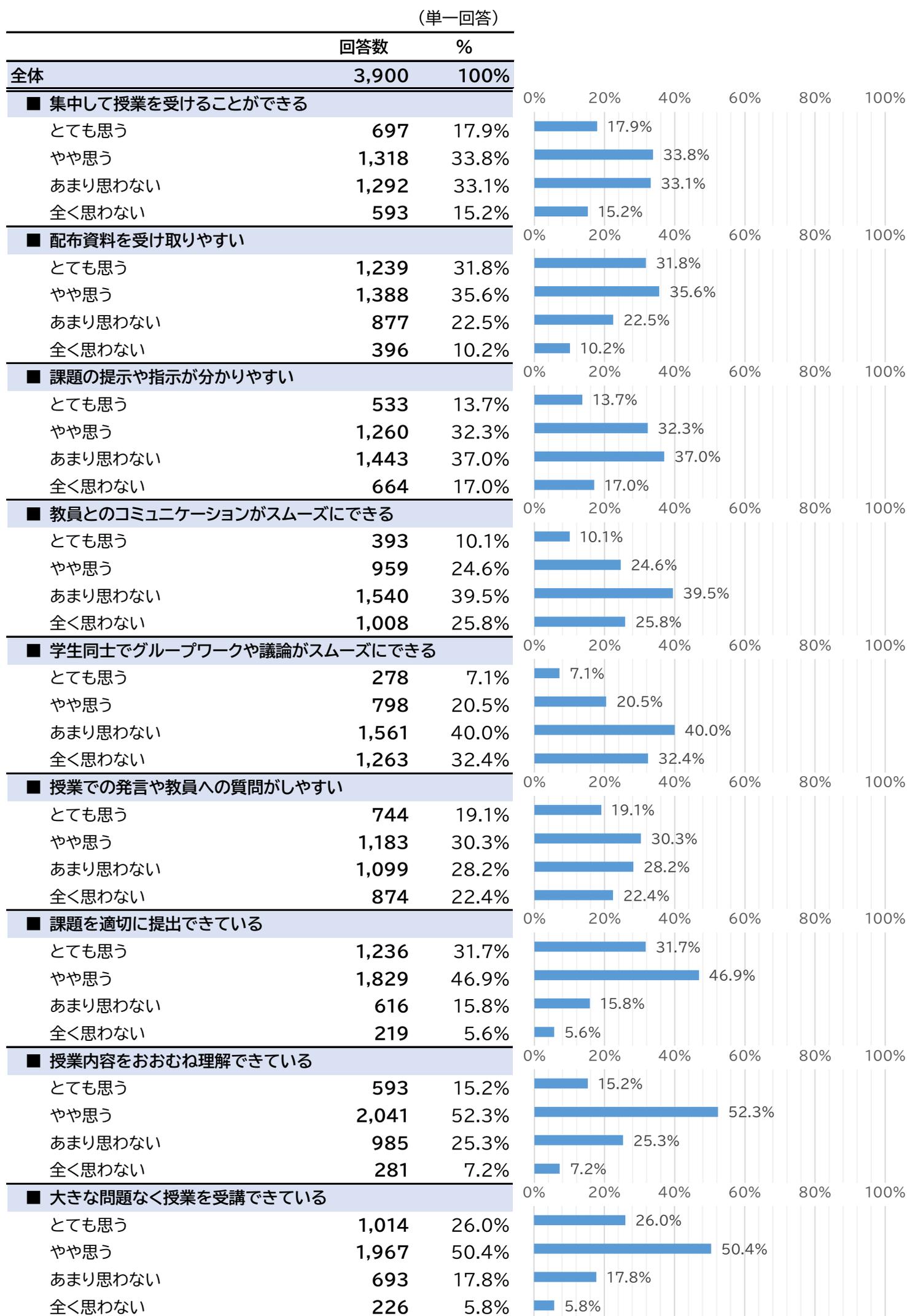
半数以上の学生が授業外での学習時間が増えたと回答している。一方で、1年生にとっては比較ができないことから、4人に1人が「わからない」の回答となったと考えられる。

(単一回答)		
	回答数	%
<b>全体</b>	<b>3,900</b>	<b>100%</b>
かなり増えた	1,282	32.9%
増えた	900	23.1%
変わらない	547	14.0%
減った	129	3.3%
かなり減った	101	2.6%
わからない	941	24.1%

授業外学習の増減の割合



問.10 通常の対面授業と比べ、遠隔授業を受講して実感していることを教えてください。



問10では、特定の講義形態を指定せず、遠隔授業全般について実感していることについて、通常の対面授業と比較した回答を求めた。

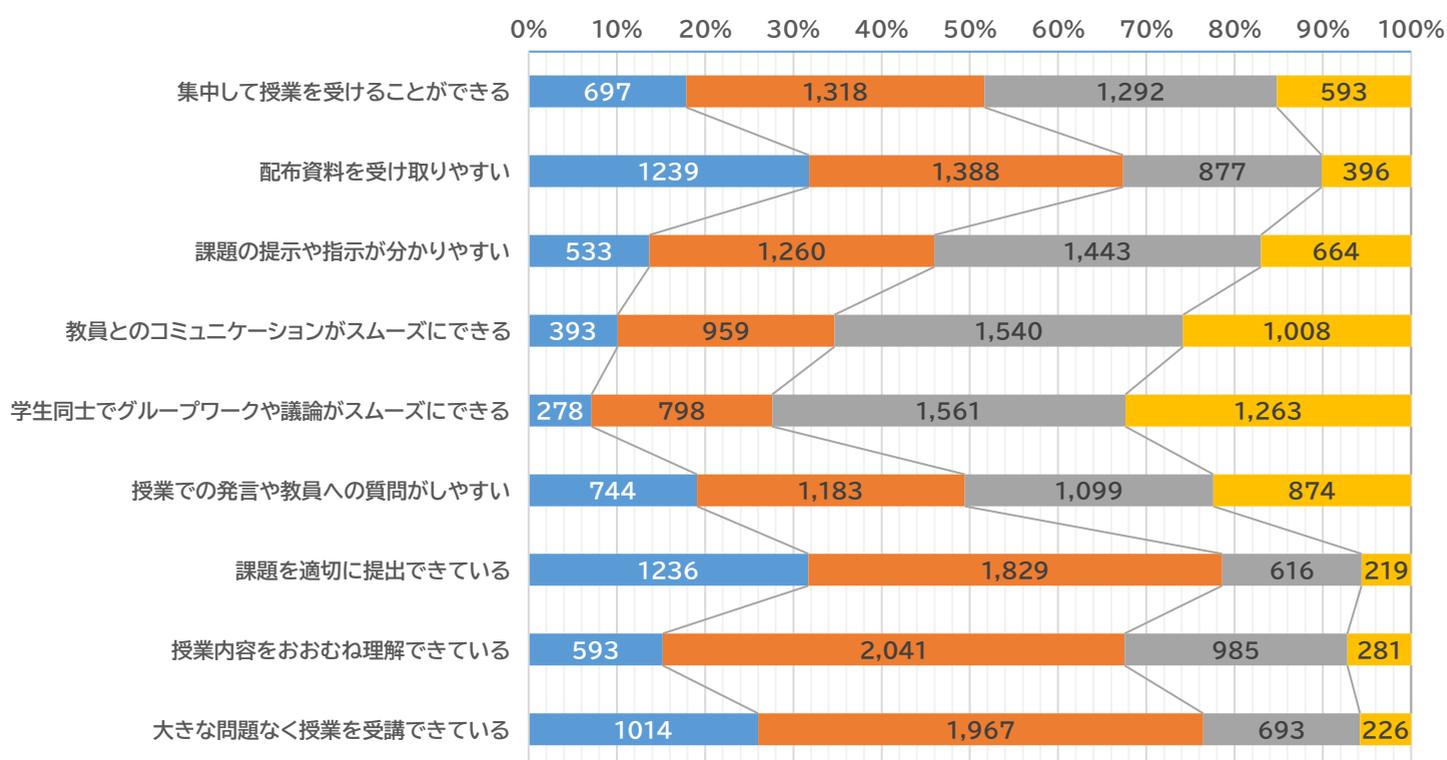
比較的好意的な傾向となったのは、「配布資料を受け取りやすい」「課題を適切に提出できている」「授業内容をおおむね理解できている」「大きな問題なく授業を受講できている」の4つであった。電子ファイルのやりとりについては、そこまで苦慮していないことが分かった。

比較的否定的な傾向となったのは、「教員とのコミュニケーションがスムーズにできる」「学生同士でグループワークや議論がスムーズにできる」の2つであった。授業中のコミュニケーションについては、多くの学生がやりにくさを感じていることが分かった。

「集中して授業を受けることができる」「課題の提示や支持が分かりやすい」「授業での発言や教員への質問がしやすい」の3つについては、好意的・否定的な回答がほぼ半数に分かれた。

問.10 通常の対面授業と比べ、遠隔授業を受講して実感していることを教えてください。

■とても思う ■やや思う ■あまり思わない ■全く思わない

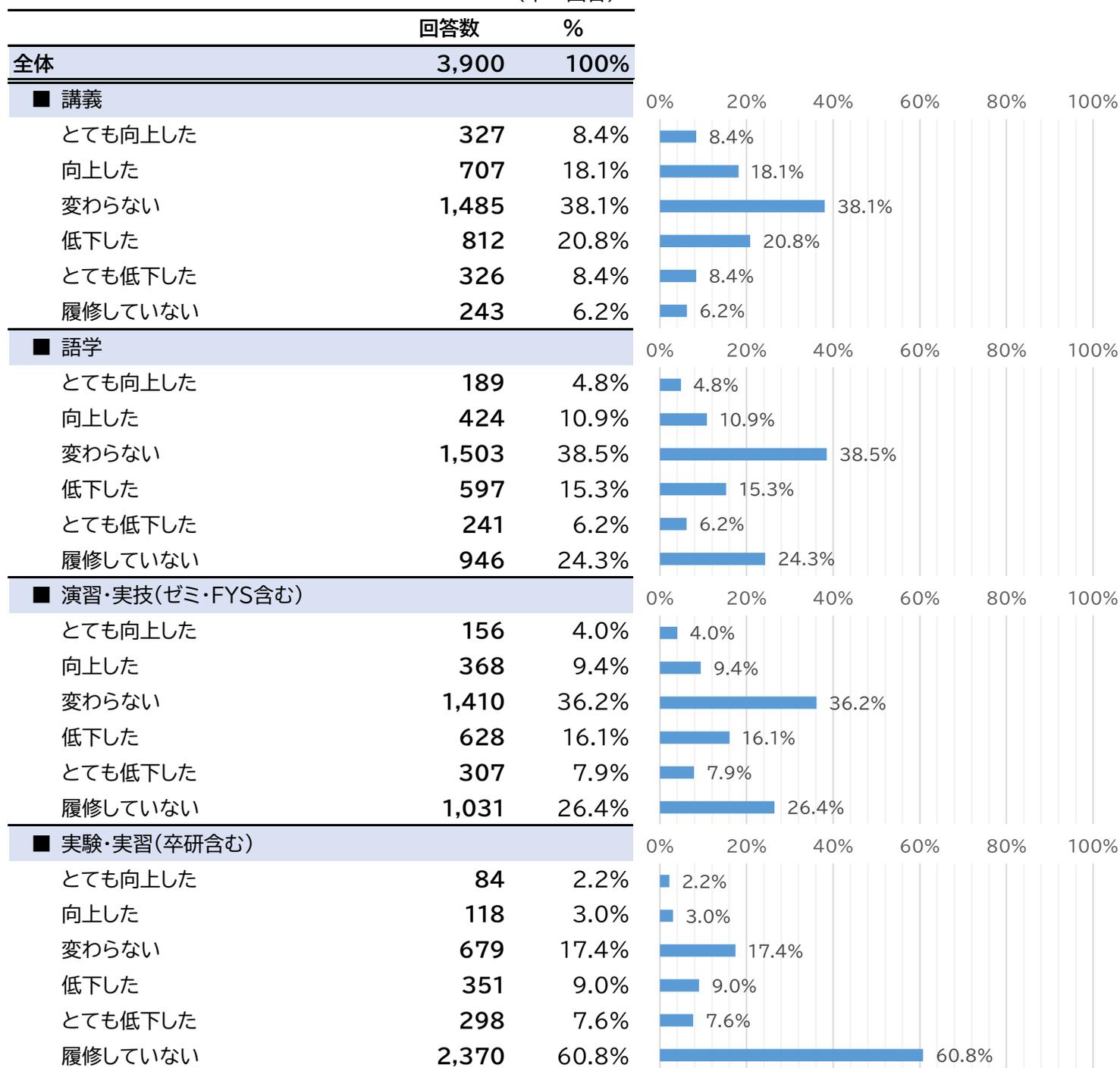


	とても思う	やや思う	あまり思わない	全く思わない	合計
■ 集中して授業を受けることができる	697 17.9%	1,318 33.8%	1,292 33.1%	593 15.2%	3,900 100%
■ 配布資料を受け取りやすい	1,239 31.8%	1,388 35.6%	877 22.5%	396 10.2%	3,900 100%
■ 課題の提示や指示が分かりやすい	533 13.7%	1,260 32.3%	1,443 37.0%	664 17.0%	3,900 100%
■ 教員とのコミュニケーションがスムーズにできる	393 10.1%	959 24.6%	1,540 39.5%	1,008 25.8%	3,900 100%
■ 学生同士でグループワークや議論がスムーズにできる	278 7.1%	798 20.5%	1,561 40.0%	1,263 32.4%	3,900 100%
■ 授業での発言や教員への質問がしやすい	744 19.1%	1,183 30.3%	1,099 28.2%	874 22.4%	3,900 100%
■ 課題を適切に提出できている	1,236 31.7%	1,829 46.9%	616 15.8%	219 5.6%	3,900 100%
■ 授業内容をおおむね理解できている	593 15.2%	2,041 52.3%	985 25.3%	281 7.2%	3,900 100%
■ 大きな問題なく授業を受講できている	1,014 26.0%	1,967 50.4%	693 17.8%	226 5.8%	3,900 100%

以下の問11~13については、今回受講している授業の中で授業形態ごとの主たる科目を念頭にご回答ください。

問.11 平常時の対面授業と比べ、教育内容や学習効果は向上したと感じますか。

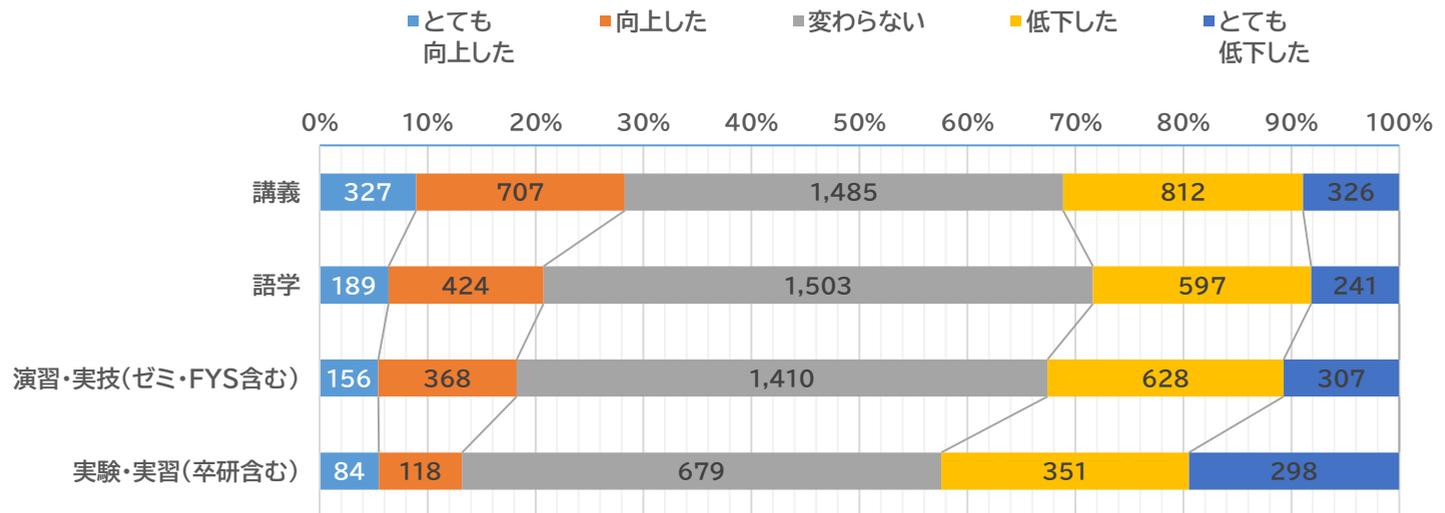
(単一回答)



問11では、受講している授業形態ごとに、主要な科目を想定したうえでの回答を求めた。  
下のグラフについては、「履修していない」を除いた割合で作成し、実際に受講した授業形態の教育内容や学習効果の感想をグラフ化している。  
どの授業形態でも、「変わらない」が40～50%を占めるが、1年生にとっては対面授業と比較できないため、1年生の回答を除いた検討が今後、必要となる。  
傾向としては、「講義」>「語学」>「演習・実技」>「実験・実習」の順に好意的な感想が多いことが分かる。

問.11 平常時の対面授業と比べ、教育内容や学習効果は向上したと感じますか。

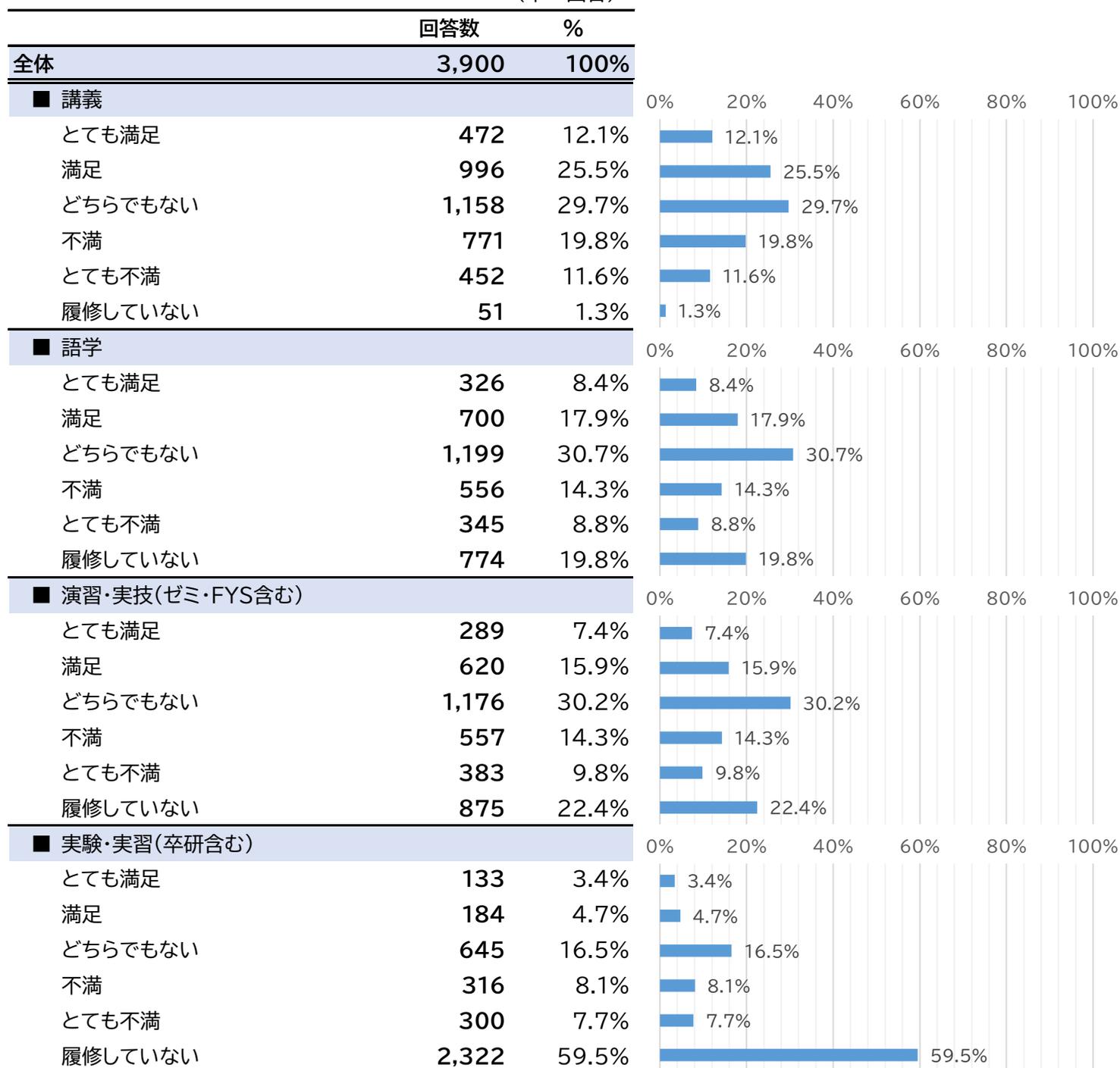
※「履修していない」を除いた割合



	とても向上した	向上した	変わらない	低下した	とても低下した	履修していない
■ 講義	327 8.4%	707 18.1%	1,485 38.1%	812 20.8%	326 8.4%	243 6.2%
■ 語学	189 4.8%	424 10.9%	1,503 38.5%	597 15.3%	241 6.2%	946 24.3%
■ 演習・実技(ゼミ・FYS含む)	156 4.0%	368 9.4%	1,410 36.2%	628 16.1%	307 7.9%	1,031 26.4%
■ 実験・実習(卒研含む)	84 2.2%	118 3.0%	679 17.4%	351 9.0%	298 7.6%	2,370 60.8%

問.12 今回の遠隔授業について、総合的な満足度を教えてください。

(単一回答)



問12でも、受講している授業形態ごとに、主要な科目を想定したうえでの回答を求めた。

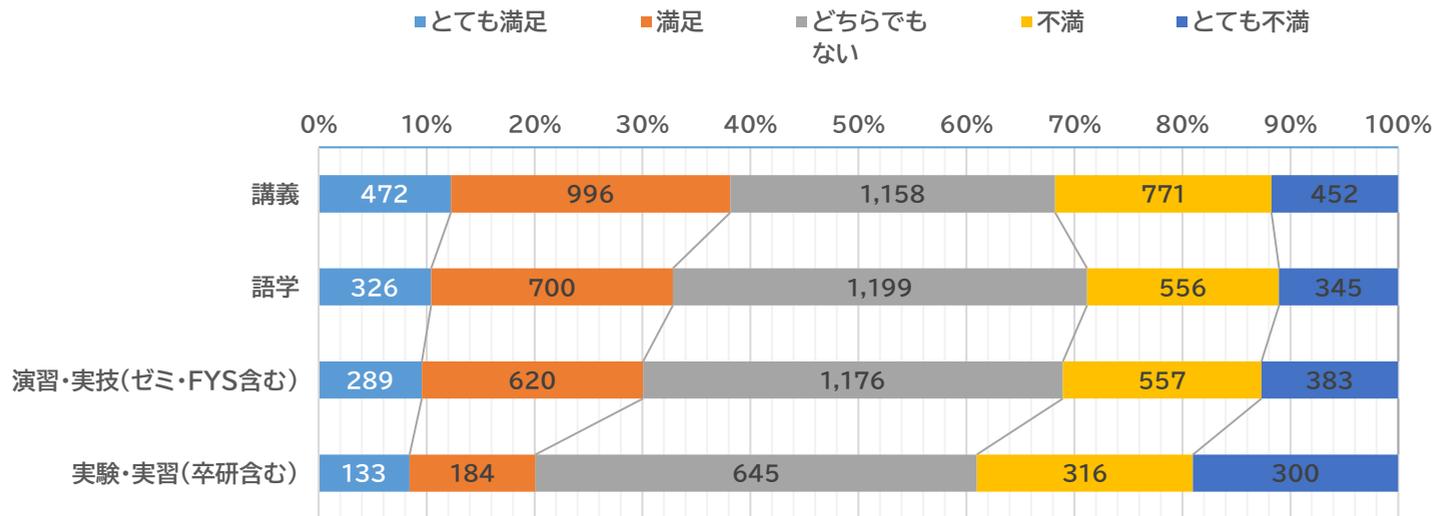
下のグラフについては、「履修していない」を除いた割合で作成し、実際に受講した授業形態ごとの遠隔授業の総合的な満足度をグラフ化している。

どの授業形態でも、「どちらでもない」の回答が多くを占めた。「講義」「語学」「演習・実技」では、好意的な回答と否定的な回答がそれぞれ約30%前後であったが、「講義」の満足度が若干高い傾向であった。

「実験・実習」については、好意的な回答が減り、否定的な回答が増えた。

問.12 今回の遠隔授業について、総合的な満足度を教えてください。

※「履修していない」を除いた割合



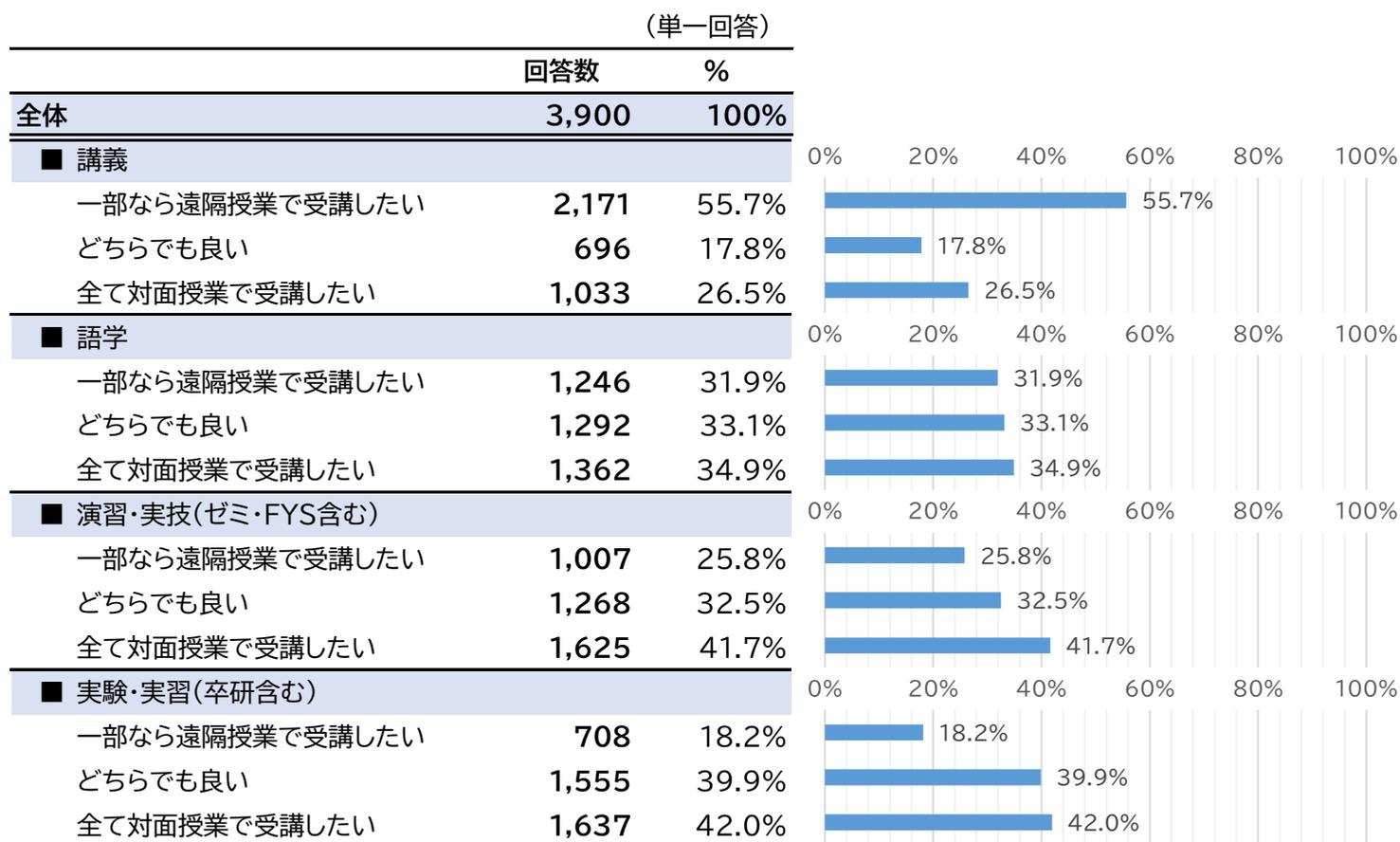
	とても満足	満足	どちらでもない	不満	とても不満	履修していない
■ 講義	472 12.1%	996 25.5%	1,158 29.7%	771 19.8%	452 11.6%	51 1.3%
■ 語学	326 8.4%	700 17.9%	1,199 30.7%	556 14.3%	345 8.8%	774 19.8%
■ 演習・実技(ゼミ・FYS含む)	289 7.4%	620 15.9%	1,176 30.2%	557 14.3%	383 9.8%	875 22.4%
■ 実験・実習(卒研含む)	133 3.4%	184 4.7%	645 16.5%	316 8.1%	300 7.7%	2,322 59.5%

問.13 今後(平常時)も一部の科目を遠隔授業で受講したいと思いますか。

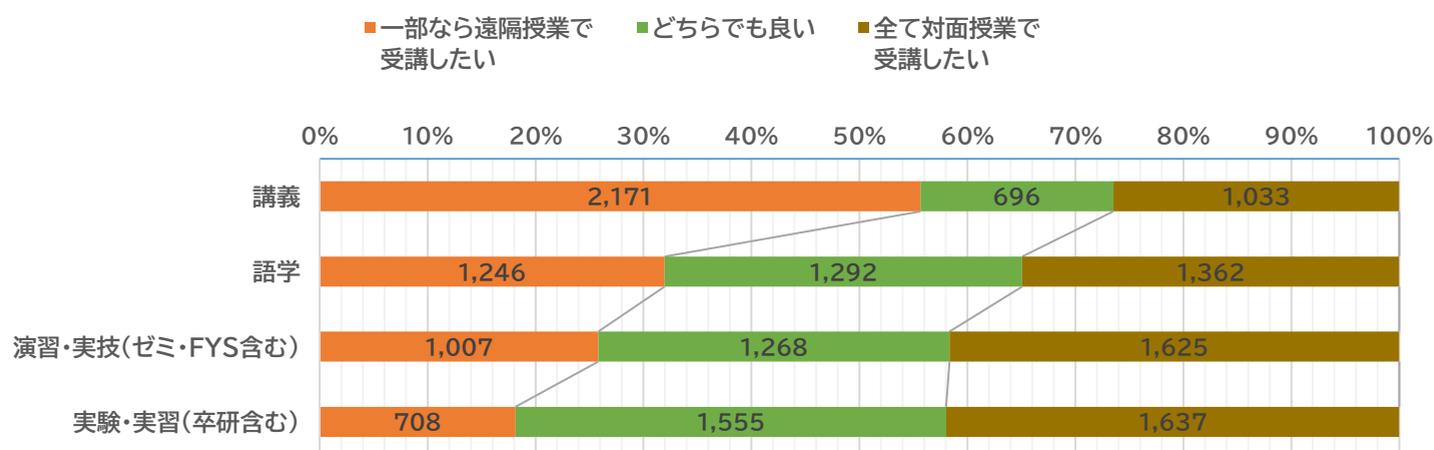
問13でも、受講している授業形態ごとに、主要な科目を想定したうえでの回答を求めた。

問11~12の結果に増して、「講義」については「一部なら遠隔授業で受講したい」が過半数を占め、「どちらでも良い」を合わせると70%以上の回答となった。

一方で、「語学」「演習・実技」「実験・実習」については、「一部なら遠隔授業で受講したい」「どちらでも良い」の回答が一定数あるものの、「全て対面授業で受講したい」の回答が多かった。



問.13 今後(平常時)も一部の科目を遠隔授業で受講したいと思いますか。

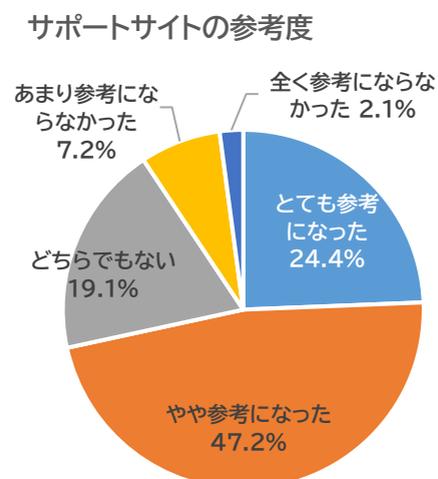


	一部なら遠隔授業で 受講したい	どちらでも良い	全て対面授業で 受講したい
<b>■ 講義</b>	<b>2,171</b> 55.7%	<b>696</b> 17.8%	<b>1,033</b> 26.5%
<b>■ 語学</b>	<b>1,246</b> 31.9%	<b>1,292</b> 33.1%	<b>1,362</b> 34.9%
<b>■ 演習・実技(ゼミ・FYS含む)</b>	<b>1,007</b> 25.8%	<b>1,268</b> 32.5%	<b>1,625</b> 41.7%
<b>■ 実験・実習(卒研含む)</b>	<b>708</b> 18.2%	<b>1,555</b> 39.9%	<b>1,637</b> 42.0%

問.14 「【学生用】遠隔授業サポートサイト」は参考になりましたか。

約70%の学生が「参考になった」と回答している。

	(単一回答)	
	回答数	%
<b>全体</b>	<b>3,900</b>	<b>100%</b>
とても参考になった	950	24.4%
やや参考になった	1,842	47.2%
どちらでもない	744	19.1%
あまり参考にならなかった	282	7.2%
全く参考にならなかった	82	2.1%



問.15～問.16では、「遠隔授業を実施して、良かったと感じる点」「遠隔授業に関する困ったこと」について、300字以内での自由記述による回答を設けた。記述内容として、主に以下の7つのカテゴリに関するご意見等が寄せられた。

1. 遠隔授業におけるハードウェア・ソフトウェア等に関すること(ネット環境に関することを含む)
2. 教員や他の履修者とのコミュニケーションに関すること
3. 成績評価・試験・出席・課題に関すること
4. 遠隔授業がもたらした効果・弊害・負担等(通学に関することを含む)
5. 大学への意見・要望
6. コロナ(COVID-19)への懸念・所感、今後のことについて
7. その他

この自由記述の分析については、フリー・ソフトウェアである「KH Coder」を用いてテキストマイニングを行い、頻出語リストと共起ネットワーク※を次のように示した。なお、個別の記載内容は非公開とする。

※共起ネットワーク：出現数が多い語を円で、共通に出現すること(共起)が多い語を線で結んでいる。  
円の大きさは語の出現数を示している。  
色は比較的強く結びついている語をグループ分けしている。



問.16 その他、遠隔授業に関する「困ったこと」について、ご意見等ありましたらお書きください。(300字以内)  
※「困ったこと」「改善してほしいこと」

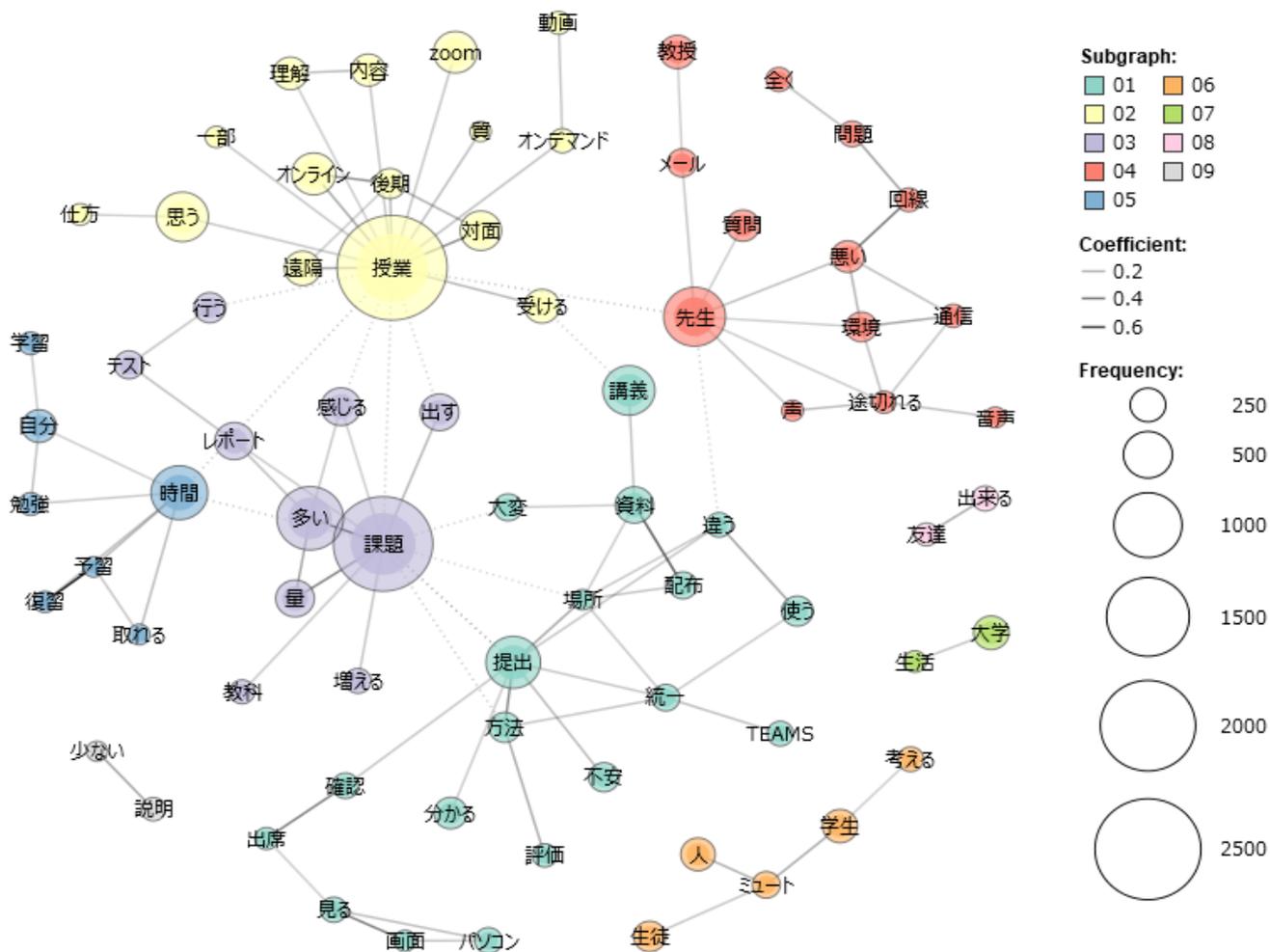
問.16「遠隔授業に関する困ったこと」への自由記述では、2,314件の回答があった。次の【表2】【図2】のように、「課題の多さ・提出への不安」「教員への苦情」「1年生からの不安(友達ができない)」「システムへの苦言」「対面授業の希望」という回答が多く寄せられた。

ただし、本分析では、否定的な語であっても、一部は肯定的な語で表現されていることに留意が必要である。  
(例: 友達が出来ない → 出来る 使いづらい → 使う 分かりにくい → 分かる など)

【表2】 問.16「遠隔授業に関する困ったこと」への自由記述の頻出語リスト

順位	語	出現数	順位	語	出現数	順位	語	出現数	順位	語	出現数
1	授業	2,704	16	出す	302	31	後期	197	46	ミュート	150
2	課題	2,195	17	資料	297	32	行う	197	47	統一	150
3	多い	956	18	遠隔	263	33	使う	196	48	パソコン	143
4	先生	822	19	受ける	252	34	方法	195	49	問題	139
5	時間	684	20	大学	251	35	環境	191	50	確認	137
6	提出	631	21	教授	247	36	不安	184	51	難しい	137
7	思う	571	22	学生	246	37	教員	178	52	状況	135
8	講義	570	23	人	238	38	科目	177	53	見る	134
9	オンライン	402	24	自分	236	39	テスト	168	54	出来る	131
10	zoom	394	25	理解	234	40	メール	168	55	場合	131
11	対面	351	26	内容	227	41	改善	160	56	増える	129
12	困る	330	27	悪い	219	42	出る	157	57	TEAMS	128
13	感じる	321	28	分かる	219	43	大変	155	58	考える	127
14	レポート	312	29	質問	216	44	配布	155	59	違う	125
15	量	304	30	生徒	202	45	言う	154	60	オンデマンド	121

【図2】 問.16「遠隔授業に関する困ったこと」への自由記述の共起ネットワーク



回答数:2,314件 (個別の記載内容は非公開)

以上

【担当部署】

神奈川大学 教育支援センター

kanagawa-fd@kanagawa-u.ac.jp